

2006/7/4現在の1-11佐藤氏による調査結果

戸建住宅 ハイパーファミリータイプ
タウンハウス(2～4世帯) 戸建と同じハイパーファミリータイプ
タウンハウス(5～6世帯) マンションミニタイプ
中層棟(10世帯～) マンションタイプ

大きく分類すると上記のように4分類となります。
ここで問題なのは、引き込みルートと共用電源です。

戸建とタウンハウス(2～4世帯)は光ファイバーを直接部屋内に引き込みますので、エアコンダクトから挿入するなどの方法が一般的ですが、もし、既設電話配管を使うとすると、MDFから電話配管を使って光ファイバーを何本挿入できるかということで、1-16の宮原さんの話だと2本が限界ではないかとのことです。
ということは4世帯で2世帯しか加入できないということになります。
希望者が2世帯以下であれば良いのですが？

タウンハウス・中層棟(5世帯以上)については、光を集合型VDSL装置で電気信号に変換して既存のアナログ電話線を使いますので、問題はありません。
(理屈はADSLと同じですがNTT忠生北局から小山田桜台までは光幹線を利用)

最近のやりとりでは共用電源コンセントが必要とってきております。
通常はテレビ増幅器の電源を分配利用しますが、タウンハウスは電源がないところがあります。電源工事費を誰が負担するのか明確ではありません。(管理組合が負担するつもりは無い)

どちらにしろ、物件単位で調査が必要ですので、管理組合の代表者がNTTと交渉するのが良いと考えます。但し訳のわからない代理店と話をしては無駄ですので、**直接NTTマンション担当の新井規郎さん(0120-042-799)と交渉してください。**